

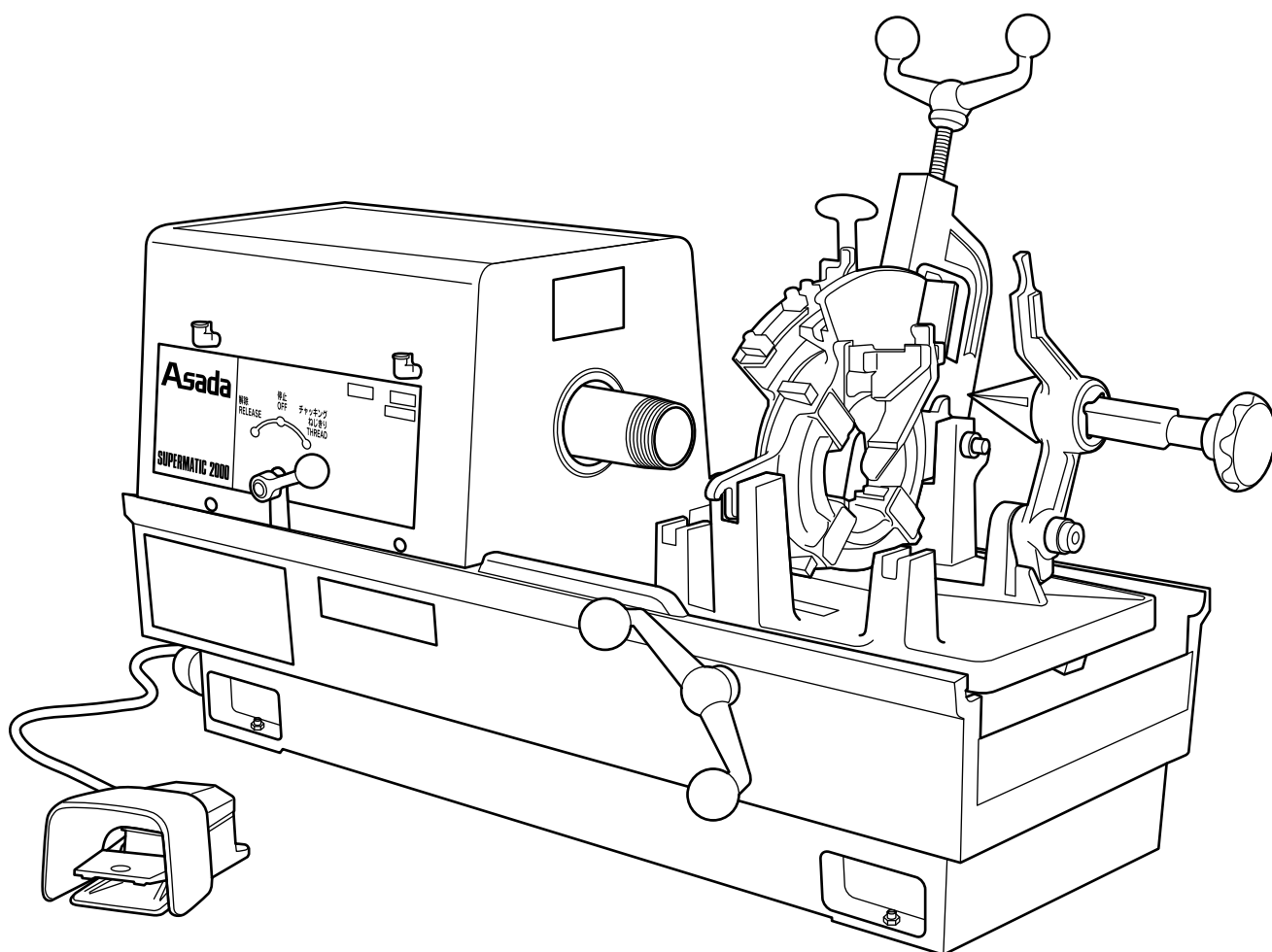
Asada

環境を守る親切ツール

パイプねじ切機

スーパーマチック 2000

取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

IM1204

スーパーマチック 2000

安全にご使用いただくために

このたびは、スーパーマチック2000をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取り扱いで本機の性能を充分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を使用用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
 - ・ご注文の商品の仕様と違いはないか。
 - ・輸送中の事故等で破損、変形していないか。
 - ・付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
(本書記載内容は改良のため、予告なしに変更することがあります)

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の3つのレベルに分類しています。



危険

本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。



警告

本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。



注意

本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、軽症または中程度の障害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

記号



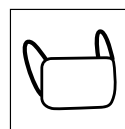
感電



刃物



有毒ガス



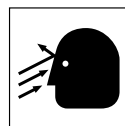
マスク



はさまれ



高温



飛散



棒巻き込まれ



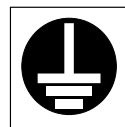
爆発



火災



転倒



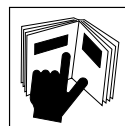
アース



回転物



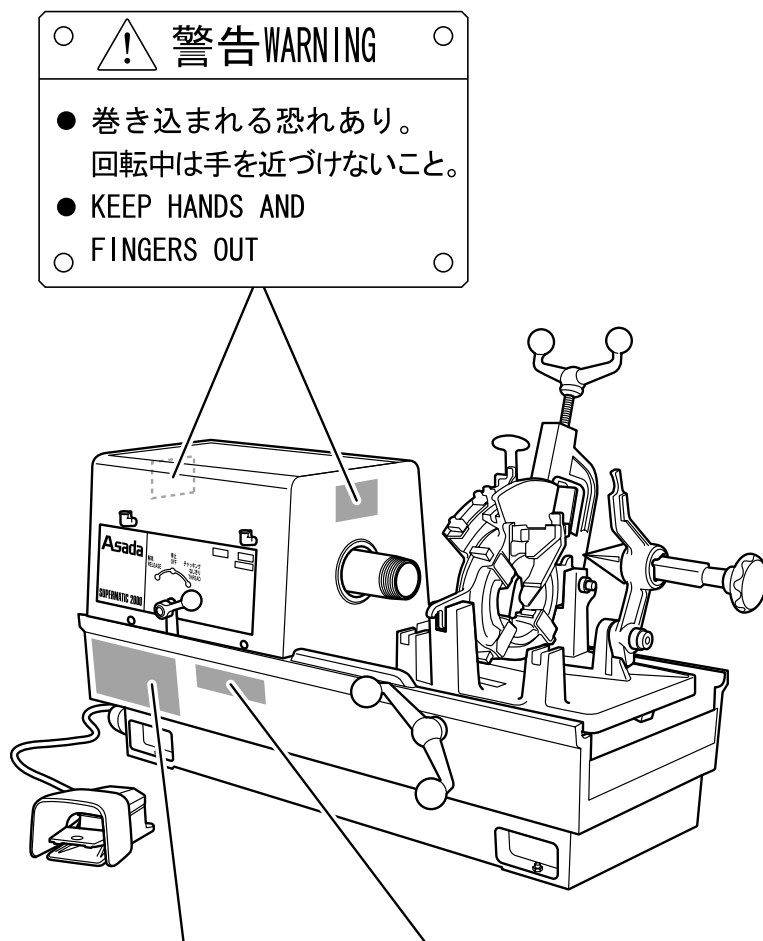
その他



取扱説明書

警告ラベル

- 本機は次の3つの警告ラベルと1つの注意ラベルが貼付してあります。安全確保のための説明が書かれていますので、きれいに保ち、はがれたり、見つらなくなった場合は、弊社へ請求してください。そして必ず同じ場所に貼り直してください。



○  **警告 WARNING** ○

- 巻き込まれる恐れあり。
回転中は手を近づけないこと。
- KEEP HANDS AND
○ FINGERS OUT ○

▲ 注意

モータ焼損

以下の操作には十分注意してください。

- レバースイッチを「チャッキング/ねじり」から「解除」に倒す時は、一旦「OFF」位置に止め、回転が完全に停止後、「解除」に倒してください。
「チャッキング/ねじり」から「解除」への連続した操作は、モータが焼損します。
- レバースイッチは、「解除」位置で保持しないでください。
モータが焼損します。

▲ 警告

- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みの上お使いください。
- 回転部に手や顔を近づけないでください。
- 電源コードを差し込むときには、スイッチがOFFになっている事を必ず確かめてください。

ご使用上の注意

⚠ 危険

感電



- ◆感電し、死亡することがあります。必ずアースをしてください。
- ◆濡れた手で電源プラグを電源コンセントに差し込まないでください。

アース



- ◆雨中や本機内部に水の入りやすい場所では、使用しないでください。
- ◆電源プラグ、電源コードや延長コードが損傷していたら、すぐに交換してください。
- ◆電源コードを持って電源から引き抜いたり、コードの上に本機を置いたりしてコードを損傷させないでください。
- ◆延長コードはアース線を備えた4芯キャプタイヤケーブルを使用し、屋外使用の場合は特に気を付けて丈夫な物をご使用ください。

有毒ガス



- ◆有害な塩素系ガスが発生します。ねじ切りオイル赤を燃焼させないでください。万一、吸引した場合は、新鮮な空気のある場所へ移動し、早急に医師の診断を受けてください。
- ◆水道管の加工には必ず、ねじ切りオイル白をご使用ください。

回転物



- ◆材料、オートチャック爪は、作業中に回転します。袖などが巻き込まれないように注意してください。

⚠ 警告

火災



- ◆発熱、発煙、発火の原因となるので、電源電圧は単相200Vでご使用ください。
- ◆チェーザの摩耗等の過負荷でモータが停止するような無理な使い方はしないでください。
- ◆ねじ切りオイルは火気に近づけないでください。消防法では、危険物等級Ⅲに該当します。
- ◆電源プラグ、電源コードや延長コードが損傷していたら、すぐに交換してください。
- ◆本機が発熱や発煙した場合は、おやみに分解せず点検や修理を依頼してください。

⚠ 警告

爆発



- ◆アース線をガス管に取り付けると爆発の恐れがあります。絶対にしないでください。
- ◆引火、爆発の恐れがありますのでガソリン、シンナー等の可燃性の液体やガスの近くでは使用しないでください。

刃物



- ◆刃物で手を切る恐れがありますので、チェーザ、リーマ、パイプカッタの刃の交換は、必ず手袋をしてください。
- ◆切断面は鋭利になっています。直接手で触れないでください。
- ◆刃物や回転部に触れる場合は、本機のレバースイッチを停止位置にし電源プラグを抜いてください。

回転物



- ◆電源プラグを電源に差し込むときは、スイッチがOFFになっていることを確認してください。スイッチがOFF以外の状態で電源に差し込むと、本機が急に動き事故の原因になります。
- ◆使用中は、回転部に手や顔を近づけないでください。回転部や切粉に巻き込まれ、ケガをします。
- ◆切断、リーマ、ねじ切り等の作業は手袋を使用しないでください。巻き込まれてケガをします。
- ◆材料、オートチャック爪は、作業中に回転します。ネクタイ、ネックレスや袖口の開いた服装は、巻き込まれてケガをします。着用しないでください。
- ◆長い髪は回転部に巻き込まれてケガをします。帽子やヘアカバー等で覆ってください。
- ◆本機を使用しない場合や、停電、保守、点検の場合はスイッチをOFFにし電源プラグを抜いてください。本機が急に動き事故の原因になります。

棒巻き込まれ



- ◆回転させたま放置しないでください。他の人が巻き込まれてケガをします。
- ◆長い材料を加工する場合には、パイプ受け台を使用してください。材料が歪み回転中に振れたり、材料の重みで本機が浮き上がる等、不安定にならないようにしてください。

スーパーマチック 2000

警告

飛散



- ◆ねじ切りオイルや切粉が目に入ります。加工中は保護メガネをご使用ください。
- ◆切粉をエアーで吹き飛ばさないでください。目に入り失明することがあります。

マスク



- ◆粉じんが口や鼻に入る恐れがあります。粉じんの多い加工では、防じんマスクをご使用ください。

高温



- ◆ねじ切り直後のチェーザ、切粉やねじ面は高温になっています。直接手で触れないでください。

その他



- ◆運搬中にサドルが動かないように固定し、リフト等の運搬具を使用してください。
- ◆重量物ですので、特に持ち上げるときはひざを曲げ、腰に負担がかからないようにしてください。
- ◆ねじ切りオイルで汚れた本機は滑りやすいので、持ち上げるとき足の上に落とさないでください。
- ◆本機が転倒しケガをします。傾斜していたり、不安定な場所には設置しないでください。
- ◆ダイヘッド側が高くなるように本機を置かないでください。パイプ材ではねじ切りオイルがパイプ内側から漏れ、床を汚します。
- ◆転倒してケガをしますので無理な姿勢で作業をせず、足元をしっかりとらせてください。
- ◆疲労、飲酒、薬物等の影響で作業に集中できないときは使用しないでください。
- ◆スイッチをONにする前に、点検や調整に使った工具を本機から取り除いてください。
- ◆指定の付属品やアタッチメント以外は使用しないでください。
- ◆ダイヘッドは、ねじ切りオイルで濡れて滑りやすいので、交換のとき足の上に落とさないでください。
- ◆ねじ切りオイルの混入した水道水を飲むと下痢や嘔吐する恐れがあります。配管材料等では、ねじ切り面やその内側に付いたねじ切りオイルは、必ず洗浄してから配管してください。
- ◆ガスや水漏れの恐れがありますので、加工後の配管材料は必ず耐圧テストを実施してください。

⚠ 警告

その他



- ◆運転中本機の異常（異臭、振動や異常音等）に気付いたときはただちに停止し、本書の「6. 修理・サービスを依頼される前に」を参照してください。
- ◆修理はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ◆本機は該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。

⚠ 注意

感電



- ◆電源コードの上に本機や材料を置かないでください。コードを破損させ、漏電の原因になります。

はさまれ



- ◆タイヘッドを下へ降ろすときに手をはさまないように、手の位置に注意してください。

転倒



- ◆長尺の材料をセットしたまま本機から離れないでください。材料でつまずきケガをします。

取扱説明書



- ◆付属品の取り付けが不十分だと外れたり落ちたりし、ケガや事故の原因になります。本書にしたがって、確実に取り付けてください。

その他



- ◆使用する前に保護カバーや本機に損傷がないか点検し、正常に作動するか確認してください。
- ◆ねじ切りオイルが入っているときに持ち運ぶと、振動でオイルが飛び散り衣服を汚すことがあります。
- ◆本機やダイヘッドを落としたりぶつけた場合は、破損、亀裂、変形等がないか点検してご使用ください。異常があるまま、ねじ切りをしても精度がでない他、ケガや事故の原因になります。
- ◆長時間本機から離れるときは、電源プラグを抜いてください。
- ◆材料がねじ切りオイルで濡れていると滑りやすくなります。足元に落とさないよう注意してください。

スーパーマチック 2000

⚠ 注意

- ◆水道管の加工には必ずねじ切りオイル白をご使用ください。ねじ切りオイル白を使用した場合は水で洗い流し、赤の場合はウエスで拭き取ってください。このとき、ねじ山や切断面で手を切らないように注意してください。
- ◆ねじが切り終わる前にサドルが本体に当たり、ダイヘッドの送りが停止します。ねじ切りはスピンドルカバーから 130 mm以上離れたところから始めてください。
- ◆正しいねじが切れませんので、次の項目を守ってください。
 - ・ねじサイズに合ったダイヘッドとチェーザをご使用ください。
 - ・ダイヘッドを正しくサドルに取り付けてください。
 - ・ダイヘッドを土や砂の上に置いたり、乱暴に扱ったりしないでください。
 - ・ねじ切りオイルがチェーザにかかるか確認してください。
 - ・材料の変形や切断面が傾斜していないことを確認してください。
- ◆作業台や作業場は整理整頓し、いつもきれいにし十分な明るさを保ってください。
- ◆本機に担当者以外を近づけたり、操作させたりしないよう管理してください。
- ◆本機を使用しないときの保管は、乾燥した場所で子供の手が届かない、または鍵のかかる場所にしてください。

その他



◆ねじ切りオイルについて

- ・皮膚に触れると炎症を起こす恐れがあります。保護手袋をつけて取り扱い、もし手に付いた場合は、水と石鹸で完全に洗い流してください。
- ・下痢、嘔吐するので、飲まないでください。もし飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、ただちに医師の診断をうけてください。
- ・子供の手の届くところへ置かないでください。
- ・うすめたり、他のねじ切りオイルと混合使用しないでください。
- ・ねじ切りオイルに水が混入し乳白色になったり、極端に劣化しねじの仕上がり面が悪くなった時は、早めに新しいオイルと交換してください。
- ・直射日光をさけ暗所に保管し、使用後は密栓し、ごみや水分などが入らないようにしてください。

有毒ガス



- ・オイルミストや蒸気を吸わないでください。気分が悪くなります。もし吸った場合は、新鮮な空気のある場所に移動し身体を毛布で覆い保温し、安静にして医師の診断をうけてください。

爆発



- ・廃油、廃容器は産業廃棄物として処理し、廃容器に加熱、穴明けや切断等をしないでください。爆発や発火する恐れがあります。

目 次

1	概 要	9
2	製品構成	9
2-1	各部の名称	9
2-1-1	本 機	9
2-1-2	ダイヘッド	9
2-2	仕 様	10
2-3	附属品	10
2-4	別販売品	10
3	据え付け	11
3-1	運 搬	11
3-2	据え付け	12
4	操 作	13
4-1	運転前の準備	13
4-1-1	ねじ切りオイルの確認	13
4-1-2	フットスイッチ操作	14
4-1-3	レバースイッチ操作	14
4-2	材料をセット	15
4-3	切 断	16
4-4	面取り	17
4-5	ねじサイズの変更	17
4-5-1	ねじサイズの変更によるチェーザの交換	17
4-5-2	サドルにセットされたダイヘッドのチェーザの取り外し、取り付け	18
4-5-3	チェーザをダイヘッドごと交換	19
4-6	ねじサイズの変更	19
4-7	ねじ切り	19
4-7-1	ねじ長さの調整	20
4-7-2	ねじ深さの調整	20
4-8	材料を外す	21
4-9	短管へのねじ切り	21
4-10	継手の締め付け	21
4-11	継手の取り外し	22
4-12	使用後の清掃	23
5	保守・点検	23
5-1	主軸の潤滑	23
5-2	各部の調整	24
5-2-1	ねじ切りオイルの吐出量調整	24
5-2-2	ブレーキ調整	24
5-3	各部の交換	25
5-3-1	リーマ刃の交換	25
5-3-2	カッタ刃の交換	25
5-3-3	ポンプの交換	26
5-3-4	オートチャック爪の交換	26
5-3-5	カーボンブラシの交換	28
5-4	日常の点検と手入れ	29
6	修理・サービスを依頼される前に	30
7	電気配線図	30

スーパーマチック 2000

1 概要

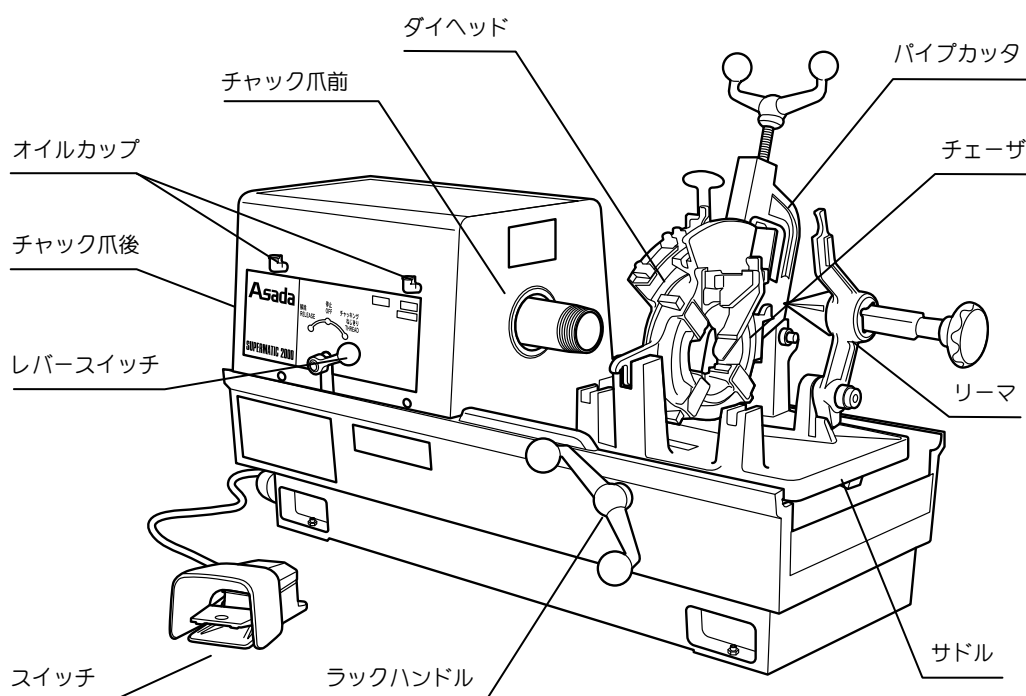
- 本機はパイプやロッド等の材料に回転をあたえ、切断や面取り、ねじ切りを行います。本機の構成は、パイプやロッド等に、回転をあたえるモータ、保持するオートチャック、切断をするカッタ、面取りをするリーマ、ねじ切りをするダイヘッド、ねじ切りオイルを潤滑させるポンプ等です。

2 製品構成

2-1 各部の名称

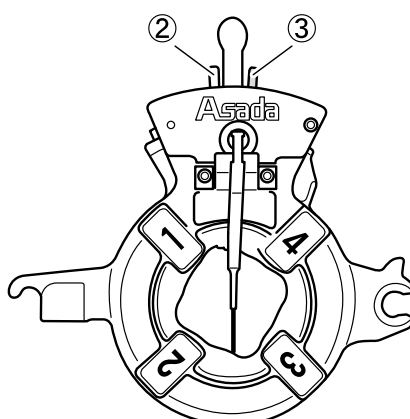
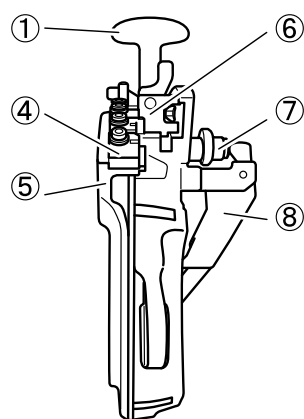
2-1-1 本機

- 本機の名称とダイヘッドを示します。オートチャックでつかみ、カッタで切断し、リーマで面取りをして、ダイヘッドでねじを切ります。



2-1-2 ダイヘッド

- ダイヘッドの詳細な名称を示します。ねじサイズを変えるときには、ダイヘッドやチェーザ、またはダイヘッドの位置決めブロックのセット位置を変えます。



- ① T-ハンドル
- ② 位置決めプレート (銀)
- ③ 位置決めプレート (黒)
- ④ 位置決めブロック
- ⑤ カム板
- ⑥ 倣本体
- ⑦ 倣いピン
- ⑧ ロッキングレバー

2 - 2 仕 様

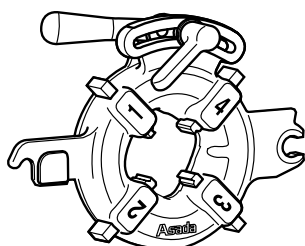
ねじ切り能力	PT1/4"~2" (8A~50A) , W3/8"~ 1",M10~24
回転速度	63min ⁻¹ (rpm)
モータ	200V単相シリースモータ1700W
周波数	50/60Hz
本体質量	113k g
大きさ	1124(L)×496(W)×736mm(H)

※ 仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2 - 3 付属品

仕 様		
ダイヘッド	A T 1/2"~3/4"	A T 1"~2"
チェーザ	PT1/2"~3/4"(鋼管用ハイス) PT1"~2"(鋼管用ハイス)	
その他	ねじ切りオイル白4L・・2缶、六角棒スパナ、機械カバー	

2 - 4 別販売品



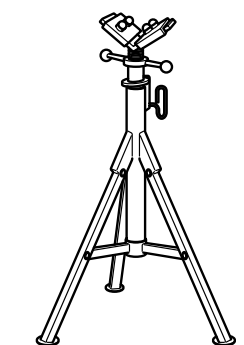
手動ダイヘッド M10~24
(コードNo.20158)



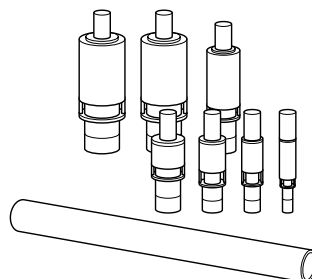
ねじ切りオイル 白16L
(コードNo.85630)



パイプねじゲージ PT1/2"~1"
(コードNo.56100)
パイプねじゲージ PT1/2"~2"
(コードNo.56127)



パイプジャック ポールH
(コードNo.S781305)



短管切削補助具
(コードNo.R00089)

3 据え付け

3 - 1 運 搬

⚠ 警告

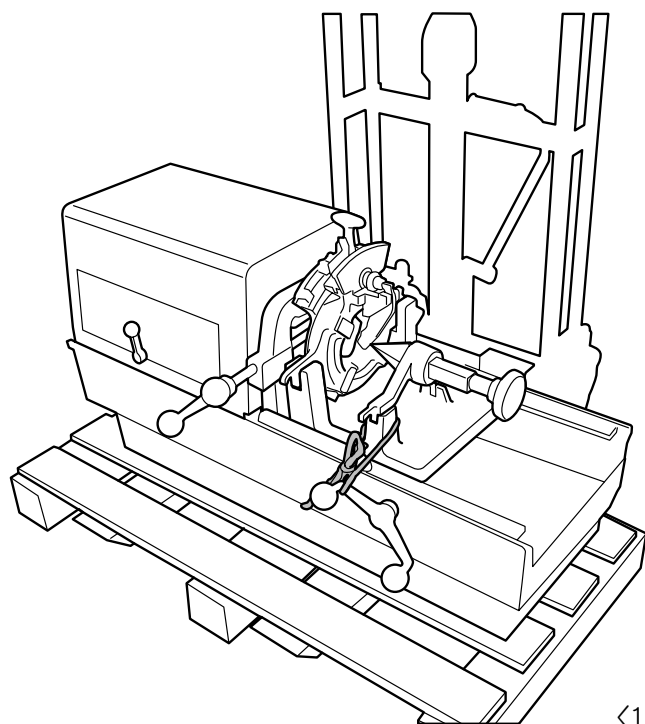


- ◆ 運搬中にサドルが動かないように固定し、リフト等運搬具を使用してください。
- ◆ 重量物ですので、特に持ち上げるときはひざを曲げ、腰に負担がかからないようにしてください。
- ◆ ねじ切りオイルで汚れた本機は滑りやすいので、持ち上げるとき足の上に落とさないでください。

⚠ 注意



- ◆ ねじ切りオイルが入っているときに持ち運ぶと、振動でオイルが飛び散り衣服を汚すことがあります。



〈1〉

3 - 2 据え付け

⚠ 警告



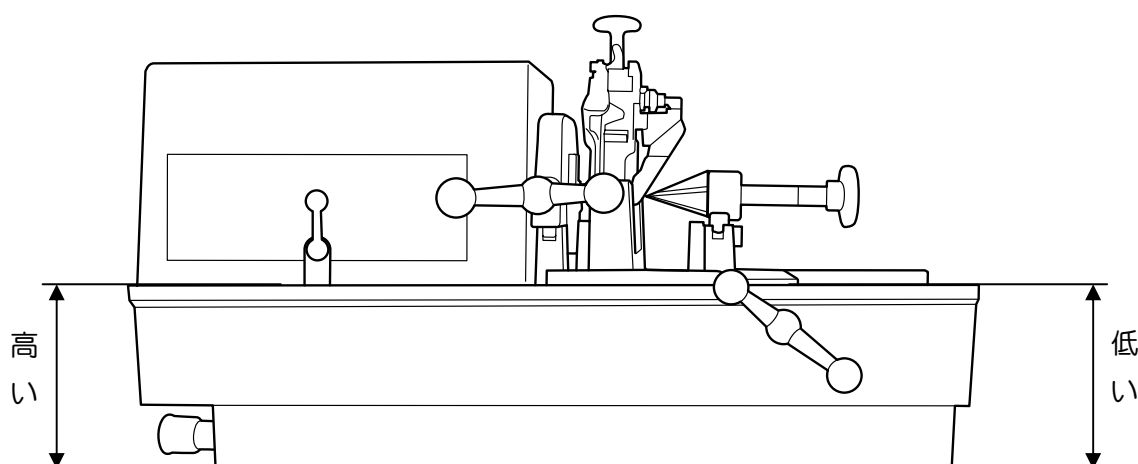
- ◆ 感電し、死亡することがあります。必ずアースをしてください。
- ◆ 延長コードはアース線を備えた 4 芯キャプタイヤケーブルを使用し、屋外使用の場合は特に気を付けて丈夫な物をご使用ください。
- ◆ アース線をガス管に取り付けると爆発の恐れがあります。絶対にしないでください。

⚠ 注意



- ◆ ダイヘッド側が高くなるように本機を置かないでください。パイプ材では、ねじ切りオイルカパイプ内側から漏れ、床を汚します。
- ◆ 雨中に屋外で使用しないでください。ダイヘッドやチェーザが錆びます。

- ① 湿気のないところに置いてください。
- ② 平坦でガタ付きのないところ、または平坦な作業台の上に置いてください。この状態では、機台の後部を高くしてください。（図 2）
- ③ 本機周りには十分なスペースを確保してください。特に長い材料を加工する場合には注意してください。
- ④ 長い材料を加工する場合にはパイプ受け台を使用し、本機が浮き上がる等の無理な力が掛からないようにしてください。
- ⑤ 電源には感電防止用漏電しゃ断器が設置されていることを確認してください。
- ⑥ 延長コードを使用する場合は、規格に適合したものをご使用ください。



〈2〉

4 操作

□ はじめに、切断も含み、ねじ切り作業を大まかに示します。

- ① オイルの確認等、運転前の準備をします。
- ② 材料を本機に取り付けます。
- ③ カッタで切断します。
- ④ 材料がパイプの場合は内面を削ります。
- ⑤ 必要に応じてねじサイズを変えますが、アストロニックダイヘッドと手動ダイヘッドで操作が違います。
- ⑥ ねじを切ります。
- ⑦ 加工済み材料を取り外します。

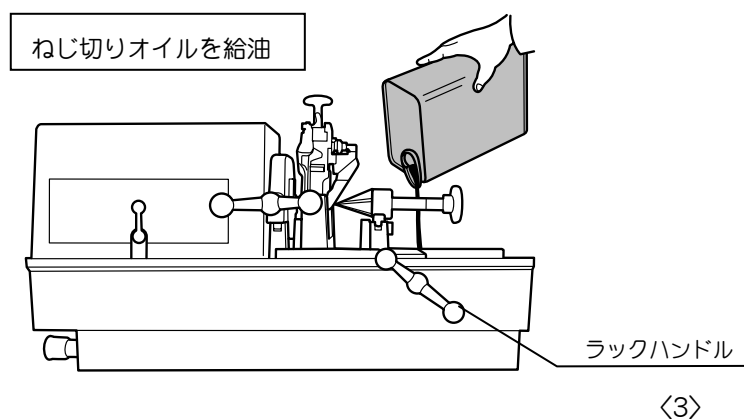
次に、この内容を手順を追って詳細に説明します。

4 - 1 運転前の準備

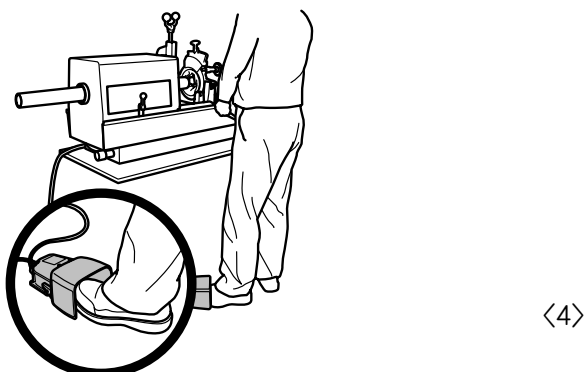
4 - 1 - 1 ねじ切りオイルの確認

□ 新品や長期間使用していない場合は防錆油が塗ってありますので、きれいな布で拭き取ってください。

- ① ラックハンドルを反時計方向に回し、サドルをチャック側に移動します。
- ② 付属のねじ切りオイル缶を本機右側から、2缶入れます。(図3)



- ③ 本機には、フットスイッチとレバースイッチの2つのスイッチが装備されています。フットスイッチは、緊急時に作業者が機械の電源を即座に遮断することができます。作業者は、フットスイッチを踏み、正しい位置で機械を運転してください。(図4)



- ④ レバースイッチが OFF を確認し、電源プラグをコンセントに差し込みます。2 芯のコンセントでは、必ずアースをしてください。
- ⑤ フットスイッチを踏み、レバースイッチをねじ切りにし、ダイヘッドからねじ切りオイルが出るか確認してください。吐き出しオイルが適量でない場合は、油量調整ねじで調整してください
[5. 保守・点検 2-1) ねじ切りオイルの吐出量調整を参照]

4-1-2 フットスイッチ操作

⚠ 注意



- ◆フットスイッチは、足以外でONの状態にして作業をしないでください。緊急時の停止ができません。
- ◆緊急時は、フットスイッチから足を離してください。機械は、止まります。
- ◆フットスイッチを踏む時は、必ずレバースイッチが、停止位置にあることを確認してください。

- ① フットスイッチは、足で踏んでください。レバースイッチの操作で機械を運転することができます。
- ② フットスイッチから足を離す時は、レバースイッチを停止位置にしてください。

4-1-3 レバースイッチ操作

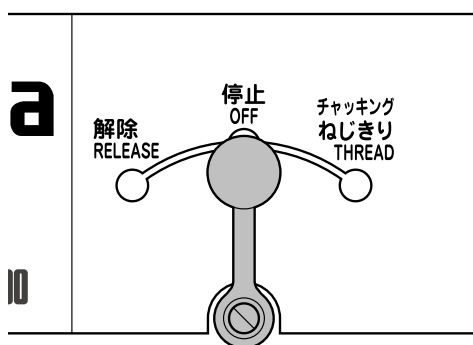
⚠ 注意



- ◆レバースイッチを解除に倒す時は、回転が完全に停止後行なってください。ねじ切り位置から連続して解除位置にレバースイッチを倒すとモータが焼損します。
- ◆レバースイッチは、解除位置で保持しないでください。モータが焼損します。

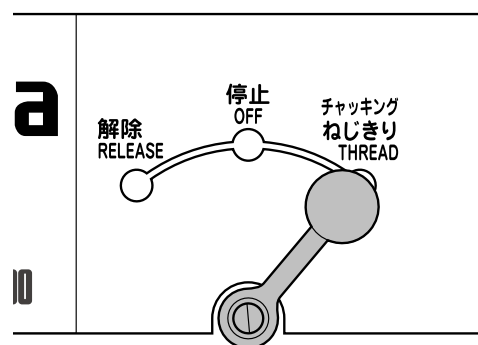
- ① 運転時以外は、停止位置にレバースイッチが保持されます。(図5)
- ② チャッキング、ねじ切り作業は、レバースイッチをチャッキング、ねじ切り位置に倒します。レバースイッチは、その位置で保持されます。(図6)
- ③ チャッキング解除作業は、レバースイッチを停止位置から解除位置に倒し保持することなく手を離します。スピンドルが逆転して、オートチャックが解除になります。レバースイッチは、自動で停止位置に戻ります。

スイッチ常位置



〈5〉

スイッチねじ切り側保持



〈6〉

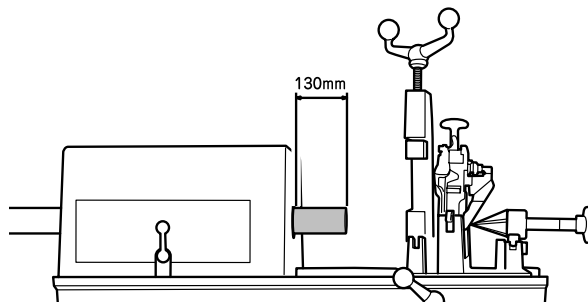
スーパーマチック 2000

4 - 2 材料をセット

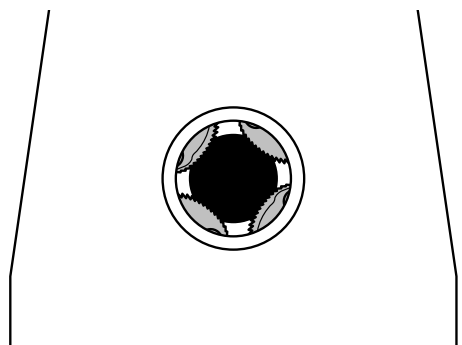
⚠ 注意



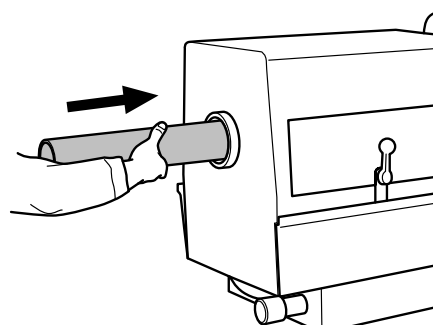
- ◆ チャックカバーから130mm以内でのねじ切りはやめてください。
ねじ切り完了前にサドルがフレームに当たり機械を破損する場合があります。



- ① カッタとダイヘッド、リーマを上を起こしてください。
- ② フットスイッチを踏み、レバースイッチを解除に倒してオートチャックの爪を開きます。(図7)
- ③ 機台後方から材料を挿入してください。(図8)

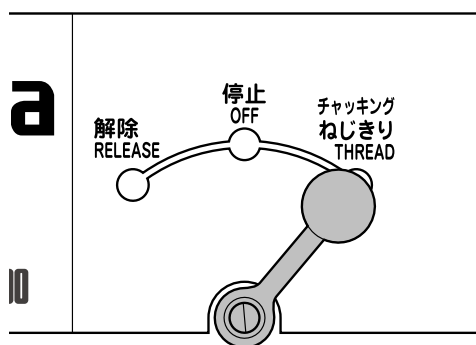


〈7〉

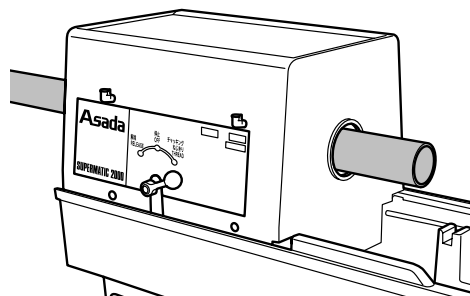


〈8〉

- ④ フットスイッチを踏み、レバースイッチをチャッキング（ねじ切り）に倒してください。(図9)
- ⑤ オートチャックが自動で材料をチャッキングします。(図10)



〈9〉



〈10〉

4 - 3 切 断

□ 材料の切断はパイプカッタで行います。切断された材料はタンク内に溜めないで、取り出してください。

⚠ 注意



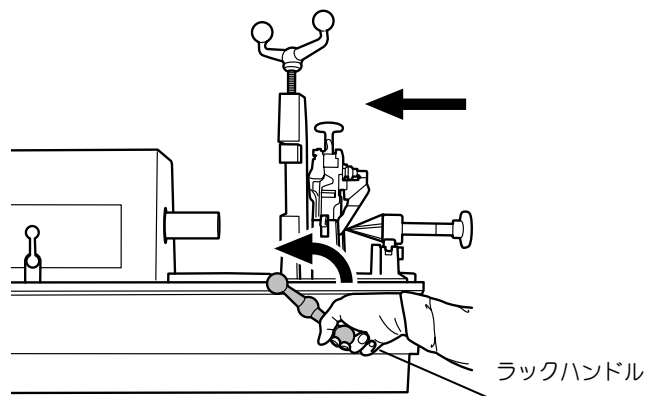
◆ 切断面は鋭利で高温になっています。手で触らないでください。



◆ カッタハンドルを無理に回すと、配管材料では切断面が楕円になり、正しいねじがきれません。

配管材料1回転に対し、カッタハンドルを半分回してください。

① パイプカッタを上を起こし、ラックハンドルを回し材料の切断位置にパイプカッタを移動します。(図 11)

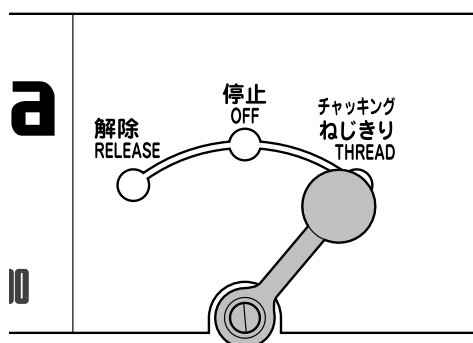


〈 1 1 〉

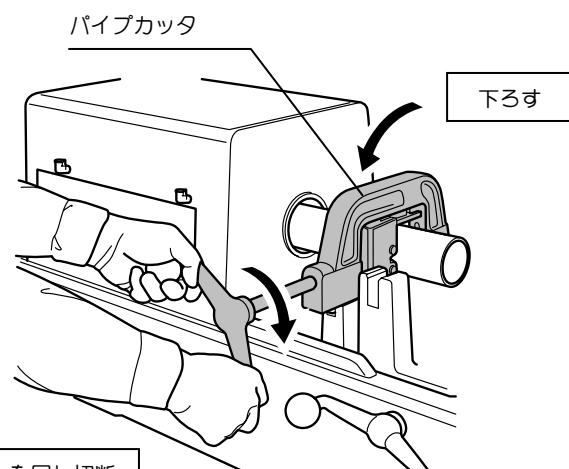
② パイプカッタを引き下ろし、ケガキ線に合せる。

③ フットスイッチを踏み、レバースイッチをねじ切り位置に倒します。(図 1 2)

④ ハンドルを時計方向に力を入れて回し、材料を切断します。(図 1 3)



〈 1 2 〉



〈 1 3 〉

⑤ パイプカッタを上を起こし、戻します。

⑥ 切断したパイプは、タンク内に溜めておかなくて取り除いてください。

スーパーマチック 2000

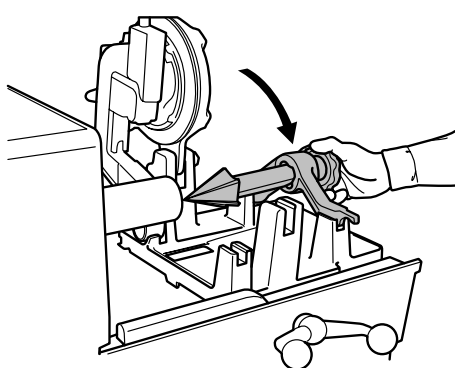
4 - 4 面取り

⚠ 注意

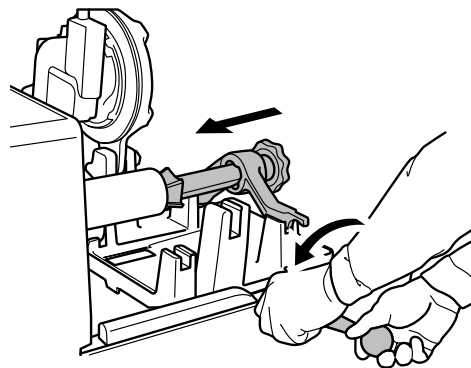


◆リーマの刃先は鋭利ですから、素手で触らないでください。

- ① カッタで切断したパイプは、パイプ内面を面取りします。
- ② リーマを手前に倒してセットします。(図14)
- ③ ラックハンドルを反時計方向に回し、回転しているパイプの端面にリーマ刃を近づけます。
- ④ さらにラックハンドルを回し、リーマ刃を軽く押し当てて内面を削ります。(図15)



〈14〉



〈15〉

4 - 5 ねじサイズの変更

4 - 5 - 1 ねじサイズの変更によるチェーザ交換

□ ねじのサイズが

【PT1/2"】【PT3/4"】のときは、【AT1/2"～3/4"】(コードNo.89255)のチェーザを使用し、
【PT1"】【PT1 1/4"】【PT1 1/2"】【PT2"】のときは【AT1"～1 1/2" (2")】(コードNo.89256)の
チェーザを使用します。

□ ねじサイズを【PT1/2"】【PT3/4"】から【PT1"】【PT1 1/4"】【PT1 1/2"】【PT2"】へ変更、
またその逆にもチェーザの交換が必要で、次の2通りがあります。

〔サドルにセットされたダイヘッドのチェーザ(4か所)を交換〕

〔チェーザをダイヘッドごと交換〕

4-5-2 サドルにセットされたダイヘッドのチェーザの取り外し、取り付け

〔取り外し〕

▲ 注意



◆チェーザの刃で手を切らないように、手袋をはめて作業をしてください。

- ① ロッキングレバーをA方向に引き、ダイヘッドを開放状態にしてください。(図16)
- ② 位置決めプレート(銀)をチェーザ用位置決めブロックに入れます。(図17)
- ③ ダイヘッドが下りている場合は、上からチェーザ番号1, 4を抜きます。
- ④ ダイヘッドを持ち上げて起こし、チェーザ番号2, 3を下へ抜きます。

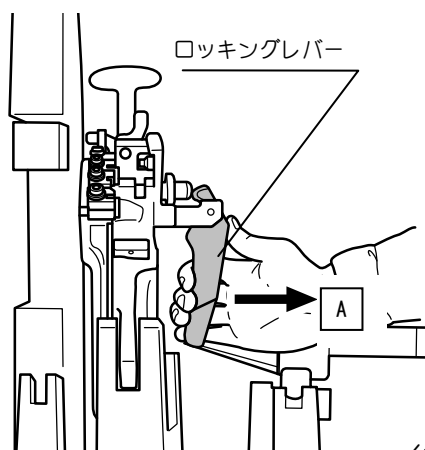
〔取り付け〕

▲ 注意

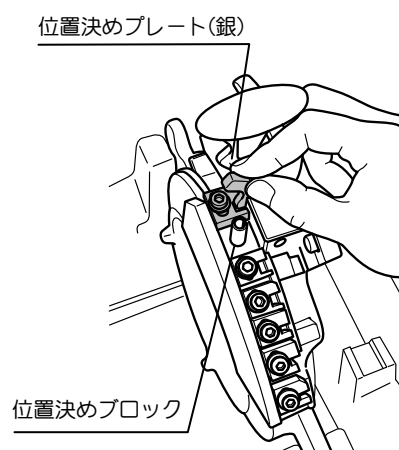


◆ダイヘッドとチェーザの番号が合っていないと、正しいねじが切れません。

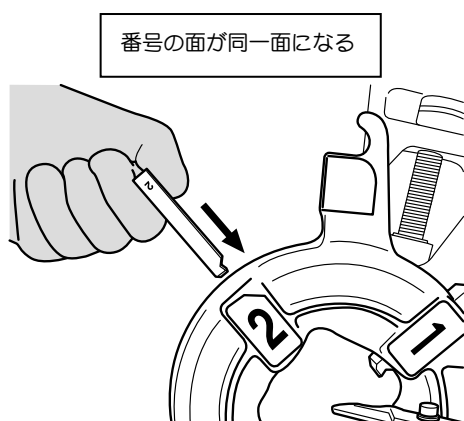
- ① ロッキングレバーをA方向に引き、ダイヘッドを開放状態にしてください。(図16)
- ② 位置決めプレート(銀)をチェーザ用位置決めブロックに入れます。(図17)
- ③ 各ダイヘッドの番号と同じ番号のチェーザをカチッと音がするまで挿入します。
- ④ このときダイヘッドとチェーザの番号が同一面にくるようにします。(図18)



〈16〉



〈17〉



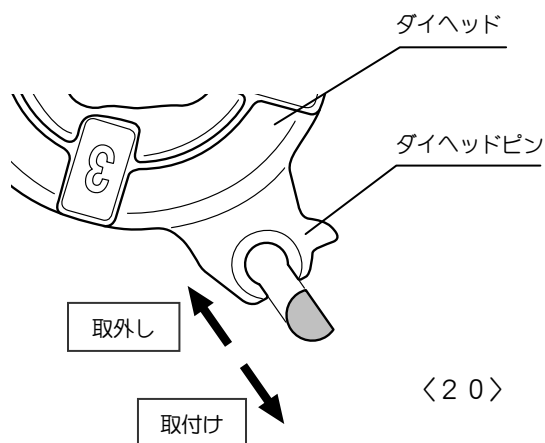
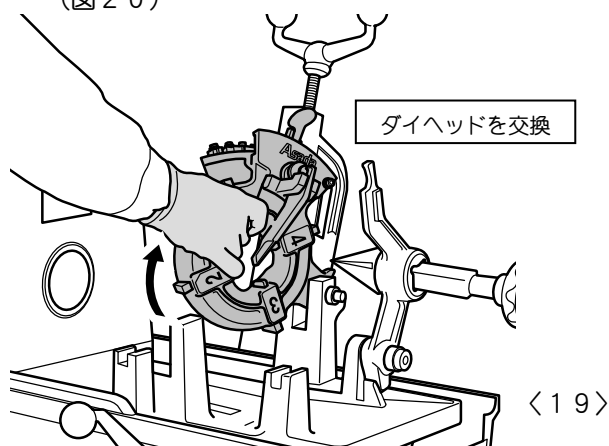
〈18〉

スーパーマチック 2000

4-5-3 チェーザをダイヘッドごと交換

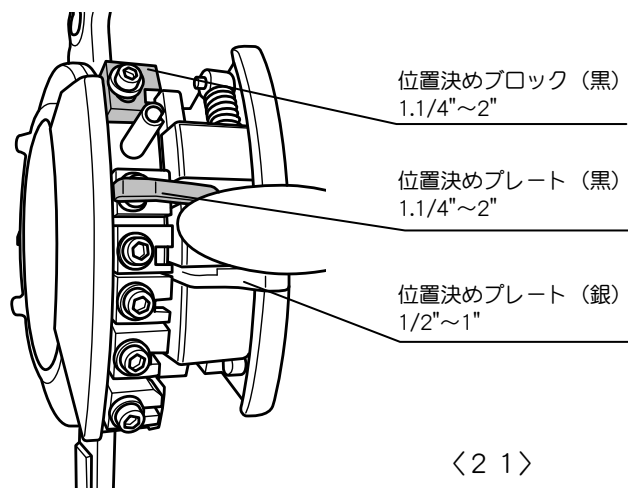
[ダイヘッドのサドルからの取り付け、取り外し]

- ① ダイヘッドを途中まで持ち上げます。(図19)
- ② そのまま斜め手前に引きダイヘッドを取り外します。
- ③ ダイヘッドピンの平らな面の方向のみダイヘッドの取り外し、取り付けができるようになっています。(図20)



4-6 ネジサイズの変更

- ① ダイヘッド及びチェーザがねじサイズに適応していることを確認してください。
 - ② 位置決めプレートをねじ切りサイズの位置決めブロックに入れます。(図21)
 - ③ サイズはそれぞれの位置決めブロックに表示されています。
- ※ AT1/2"~3/4"、AT1~2"、AT1/2"~2"のダイヘッドの場合
1/2"~1"は銀色、1.1/4"~2"は黒色の位置決めプレートとブロックで行なってください。



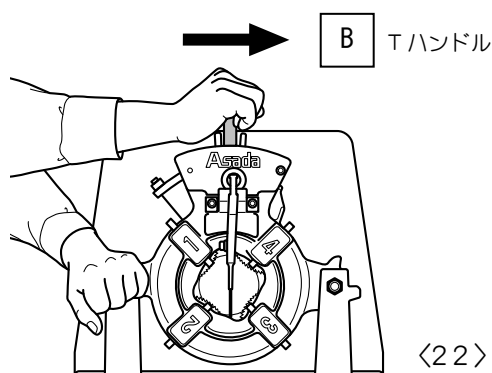
4-7 ねじ切り

⚠ 注意

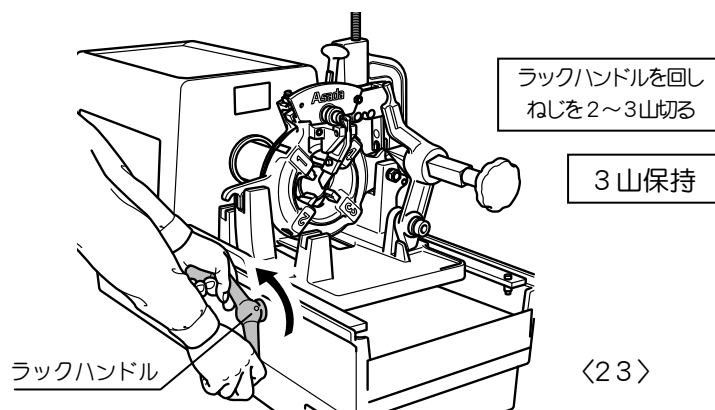


◆ ダイヘッドを下へ降ろすときに指をはさまないように、手の位置に注意してください。

- ① ダイヘッドを下へ降ろして、TハンドルをB方向へ一杯おしてセットします。(図22)
- ② フットスイッチを踏みレバースイッチをねじ切りに倒し、ラックハンドルを反時計方向に回しダイヘッドを材料に近づけます。
- ③ ダイヘッドが喰い付いてねじが2~3山切れるまで軽くラックハンドルを送り込んでください。(図23)
- ④ 自動でダイヘッドが開放してねじが切れます。終わりましたらレバースイッチを停止(OFF)にします。



<22>

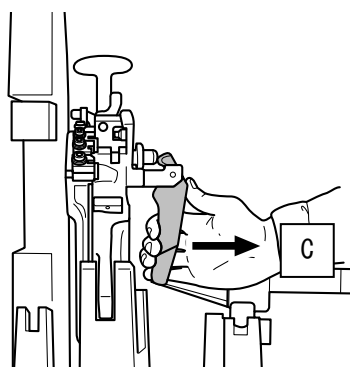


<23>

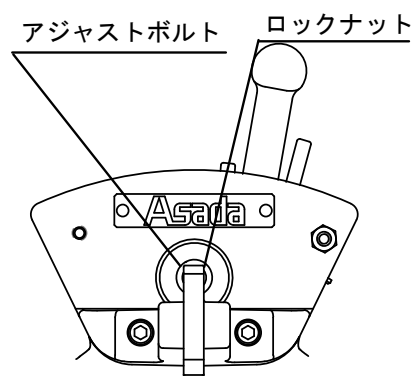
4-7-1 ねじ長さの調整

□ 出荷時は規格内のねじ長さに調整してありますが、必要に応じて次のように調整します。

- ① ロッキングレバーをC方向に引いて開放状態にしてください。(図24)
- ② ロックナットをゆるめ、アジャストボルトを回してねじ長さを調整します。
右へ回すとねじ長さが長くなり、左へ回すと短くなります。
1回転でねじ長さが約2.5mm変化します。(図25)
- ③ 調整が終わったら、ロックナットを締めて固定してください。



<24>



<25>

4-7-2 ねじ深さの調整

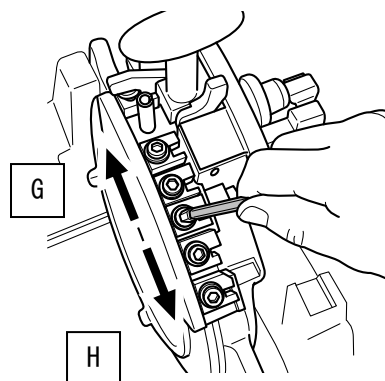
- ① ねじをゆるめ、位置決めブロックを移動させ、ねじ深さを調整します。

H方向へスライドすると深くなり、

G方向へスライドすると浅くなります。

ねじ深さは1目盛につき1.5~2山変化します。

(図26)



<26>

スーパーマチック 2000

4 - 8 材料を外す

⚠ 注意



◆材料はねじ切りオイルで濡れて滑りやすくなっています。
足元に落とさないよう注意してください。

- ① ラックハンドルを時計方向に回し、サドルを戻します。
- ② フットスイッチを踏み、レバースイッチを解除に倒し手を離します。
※ レバースイッチは、解除位置で保持しないでください。モータが焼損します。
- ③ オートチャックの爪が開きチャッキングが解除されて材料を抜き出すことができます。

4 - 9 短管へのねじ切り

⚠ 注意



- ◆前後のチェック爪でチャッキングしてください。
前側のチャック爪だけでは、パイプが振れてチャッキングされる場合があります。
- ◆前後のチャック爪でチャッキングができない場合は、短管切削用の補助具（別売品）をご使用ください。

4 - 10 継手の締め付け

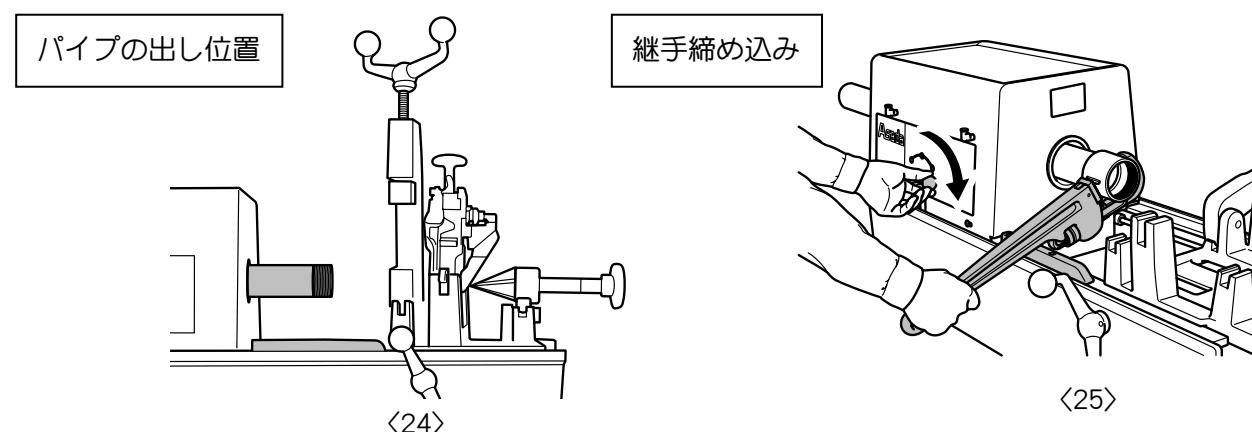
⚠ 注意



- ◆パイプレンチは、450 mm（呼び寸法）のサイズを使用してください。
大きなサイズのパイプレンチを使用すると機械が損傷することがあります。
- ◆パイプをオートチャックに挿入する前に、ねじ部にシール剤をつけてください。
機械上でシール剤を付けないでください。ポンプが破損します。
- ◆無理な締め付けは、しないでください。機械が損傷します。
手締め後の締め込み山数（参照）

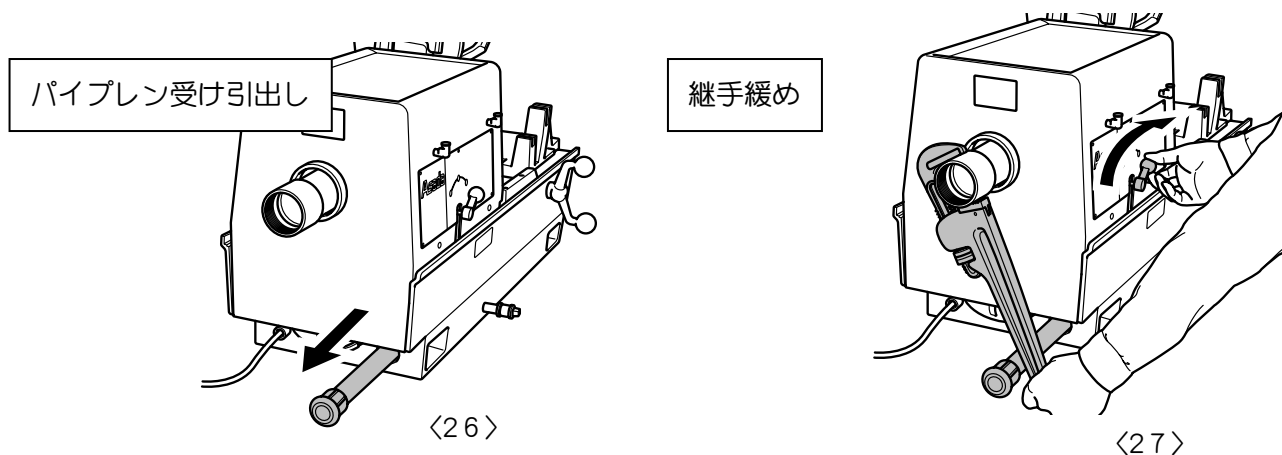
サイズ	1/2	3/4	1	1 1/4	1 1/2	2
締め込み 山数	1.5山	1.5山	1.5山	1.5山	1.5山	2山

- ① ラックハンドルを時計方向に回し、サドルを後退端まで戻します。
- ② パイプをオートチャックに挿入してパイプレンチがパイプレンチ受けに掛かる位置までパイプを出します。(図 2 4)
- ③ フットスイッチを踏み、レバースイッチをチャッキング(ねじ切り)位置に倒しパイプをチャッキングします。
- ④ レバースイッチを停止(OFF)位置に戻し、フットスイッチから足を離します。
- ⑤ 継手を締まる所まで、手で締めてください。
- ⑥ パイプレンチを継手の下側からはめ込み、パイプレンチのハンドル部分をパイプレンチ受けの上に置きます。(図 2 5)
- ⑦ フットスイッチを踏み、レバースイッチをチャッキング(ねじ切り)側に倒し、パイプを回転させて、継手を締めこみます。



4 - 11 継手の取り外し

- ① 延長パイプレンチ受けを伸ばします。(図 2 6)
- ② チャック爪後ろよりパイプを挿入して、パイプレンチが延長パイプレンチ受けに掛かる位置に継手を出します。(図 2 6)
- ④ フットスイッチを踏み、レバースイッチをチャッキング(ねじ切り)側に倒しパイプをチャッキングします。
- ⑤ レバースイッチをOFFに戻し、フットスイッチから足を離します。
- ⑥ パイプレンチを継手の下側からはめ込み、パイプレンチのハンドル部分を延長パイプレンチ受けの上に置きます、(図 2 7)
- ⑦ フットスイッチを踏み、レバースイッチをチャッキング(ねじ切り)側に倒し、パイプを回転させて、継手を緩めます。(図 2 7)



スーパーマチック 2000

4 - 11 使用後の清掃

⚠ 注意



◆ 切粉をエアーで吹き飛ばさないでください。
目に入り失明することがあります。



◆ 切粉は鋭利ですから、素手で触らないでください。
必ず手袋をはめてください。

- 本機上や周りに散乱している切粉を取り除きます。
- 切粉がついてるオートチャック爪、ダイヘッドのチェーザ、リーマをワイヤーブラシで掃除してください。
- 本機や周りに飛散したねじ切りオイルをウエスで拭き取ってください。

5 概要

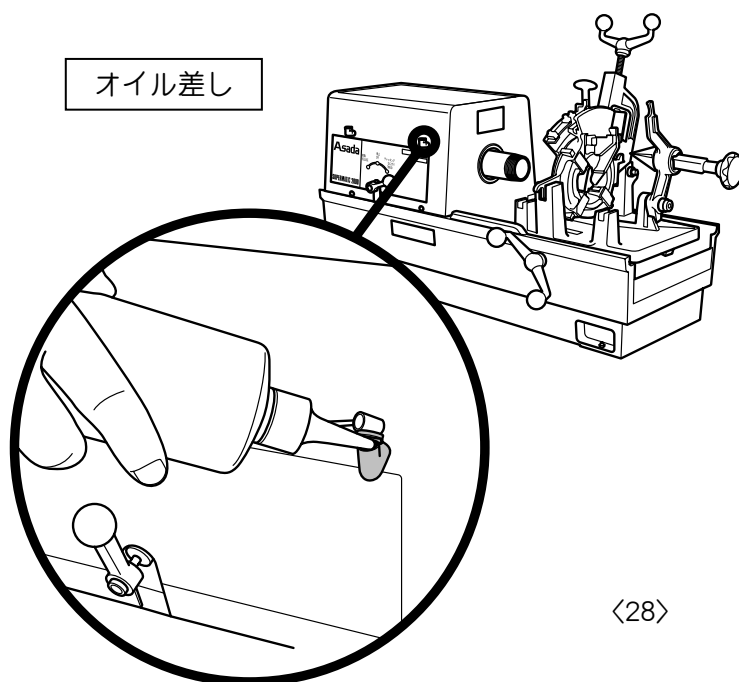
⚠ 警告



◆ 電源プラグを抜いて作業してください。
回転部やチャックに巻き込まれケガをします。

5 - 1 主軸の潤滑

- ① 運転を開始してから最初の 10 日間は、4 時間ごとにスピンドルメタルにオイルカップ（図 28）より潤滑油・・・SAE 30（粘度）を注油してください。
- ② 最初の 10 日間が過ぎたら、8 時間ごとに潤滑油を注油してください。

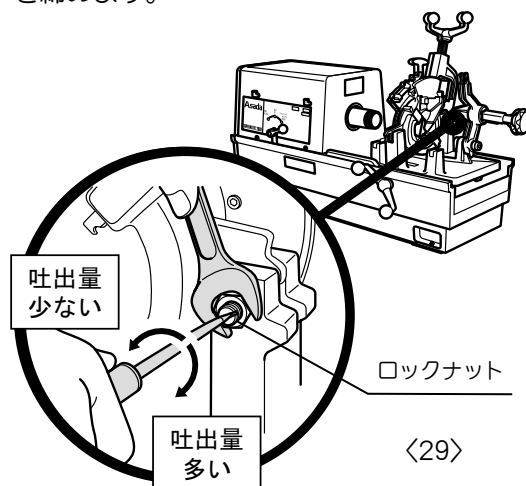


〈28〉

5 - 2 各部の調整

5 - 2 - 1 ねじ切りオイルの吐出量調整

- ① ダイヘッドから出るねじ切りオイルが適量でない場合は油量調整ねじで調整します。
- ② 油量調整ねじのロックナットをゆるめます。
- ③ 油量調整ねじを時計方向に回すとオイルの吐出量が増え、逆に回すと少なくなります。
- ④ 調整後ロックナットを締めます。



5 - 2 - 2 ブレーキの調整

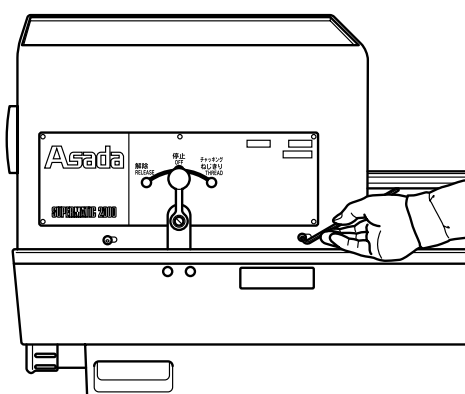
警告



◆回転部に手や顔などを近づけないでください。
回転部やチャック爪に巻き込まれ、ケガをします。

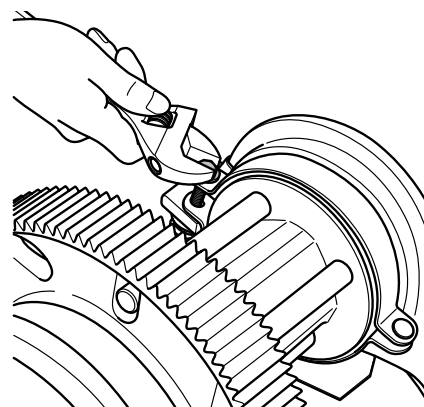
- ① スピンドルカバー取り付けボルト（4本）を回し、スピンドルカバーを外します。（図30）
- ② フットスイッチを踏み、レバースイッチをねじ切りに倒し、スピンドルを20秒程度回転させます。
- ③ レバースイッチをOFFにした時、スピンドルが1回転以内で止まるように、ブレーキ調整ボルトを締め込んで調整します。

スピンドルカバー外し



〈30〉

ブレーキ調整



〈31〉

スーパーマチック 2000

5 - 3 各部の交換

5 - 3 - 1 リーマ刃の交換



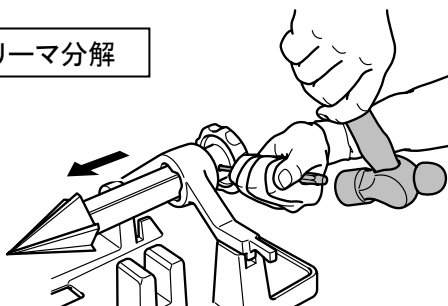
注意



◆リーマ刃で指を切らないように、手袋をはめて作業してください。

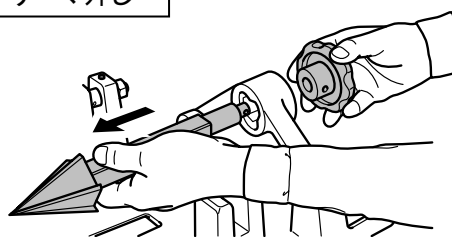
- ① ダイヘッドをサドルから外しカッタは上にあげ、リーマホルダーを手前に倒します。
- ② リーマ刃をオートチャック側にスライドさせ、ノブ部分のスプリングピンを抜きます。(図 32)
- ③ そのままリーマ刃を手前に引きぬぎリーマホルダより外します。(図 33)
- ④ 新しいリーマ刃を取り付けます。
- ⑤ スプリングピンを打ち込み固定します。

リーマ分解



〈32〉

リーマ外し

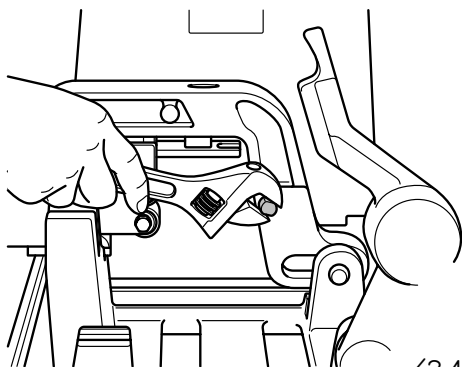


〈33〉

5 - 3 - 2 カッタ刃の交換

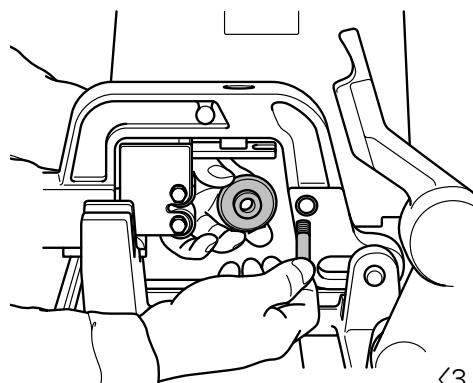
- ① ダイヘッドはサドルから外し、カッタを手前に倒します。
- ② 替刃取り付けピンボルトを緩めて抜き取ります。(図 34)

カッタ刃外し



〈34〉

カッタ刃組付け



〈35〉

- ③ 替刃取り付けピンボルトに付いている切粉、ごみ、等を拭き取り、グリスを塗ります。
- ④ 新品の替刃に替刃取り付けピンボルトを通し、カッタ本体に取り付けます。(図 35)

5-3-3 ポンプの交換

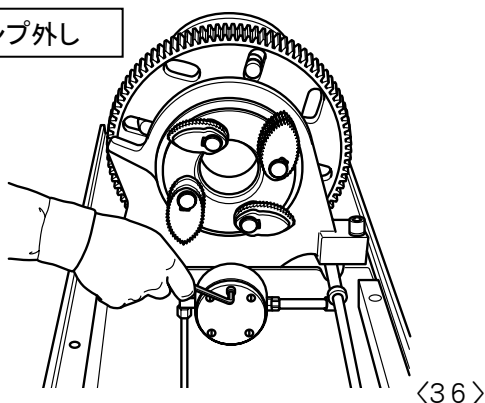
⚠ 注意



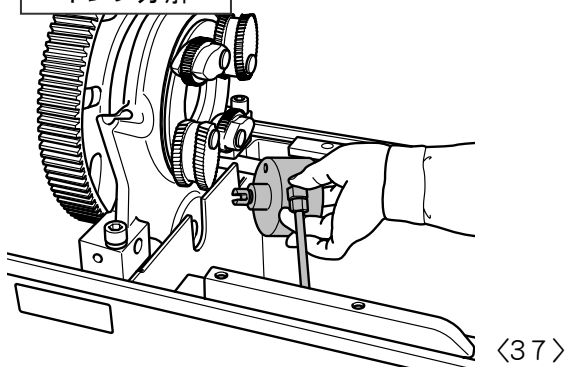
◆ポンプやチューブ内のオイルがあふれ、床を汚します。
タンク外でのポンプ組付け作業は、廻りにウエスを敷いてください。

- ① スピンドルカバーを4本のねじを緩め外します。
- ② 切粉受けを外します。
- ③ 上方についているポンプ取り付けボルト（1本）を回し、ポンプを本機から取り外します。（図36）

ポンプ外し



ポンプ分解



- ④ 継手のナットを緩め継手からホースを外しますが、オイルがあふれるので注意してください。
- ⑤ 新品のポンプに継手を取り付け、ホース、フィルタをしっかり締めます。
- ⑥ ポンプ軸を回して本機側の軸に合わせ、外したボルトでポンプを取り付けます。（図37）
- ⑦ ねじ切りオイル（3.5L）を入れ、ダイヘッドを下に降ろします。
- ⑧ スイッチを入れ、ダイヘッドからオイルが出ることを確認してください。

5-3-4 オートチャック爪交換

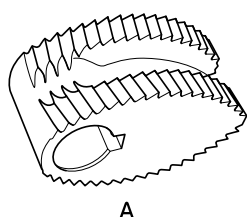
⚠ 注意



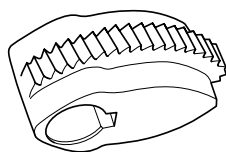
◆電源プラグは、抜いて行なってください。

- チャック爪は、ダブル爪(A)2個、シングル爪(B)2個が互いに対抗するように取り付けられています。

（図38・39）

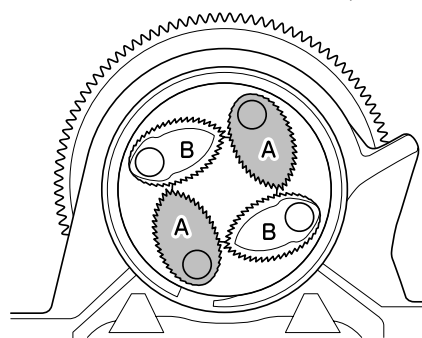


A



B

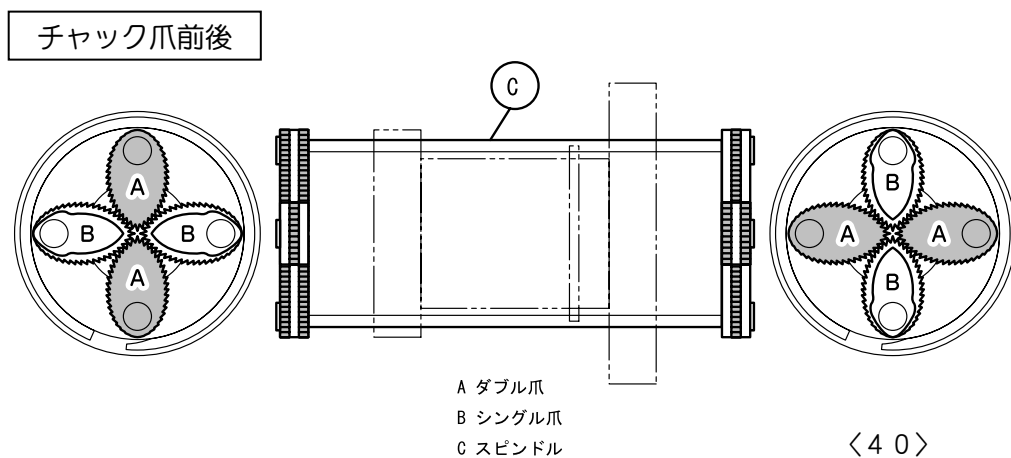
〈38〉



〈39〉

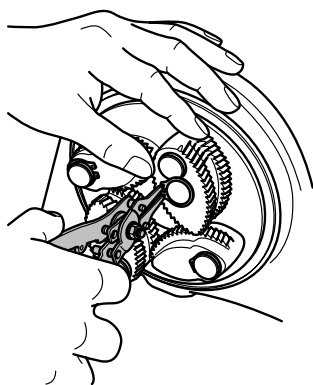
スーパーマチック 2000

□ チャック爪前とチャック爪後でダブル爪とシングル爪が対になるように組つけてあります。(図 4 0)



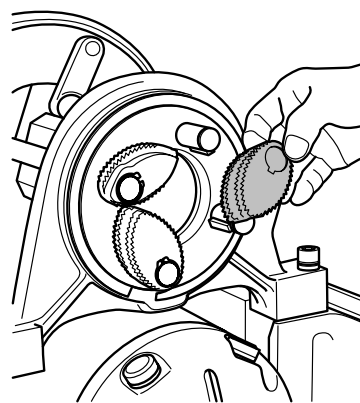
- ① スピンドルカバーを 4 本のねじを緩め外します。
- ② 止め輪を外して、チャック爪をシャフトから外します。(図 4 1) (図 4 2)
- ③ チャック爪、シャフト、キーに磨耗がないか調べてください。
- ④ チャック爪山面が磨耗している場合、チャック爪山の未使用側がスピンドル内径側になるようにチャック爪を取り付けてください。

止め輪外し



< 4 1 >

爪外し



< 4 2 >

5-3-5 カーボンブラシの交換

⚠ 警告



◆感電しますので電源プラグを抜いてください。

⚠ 注意

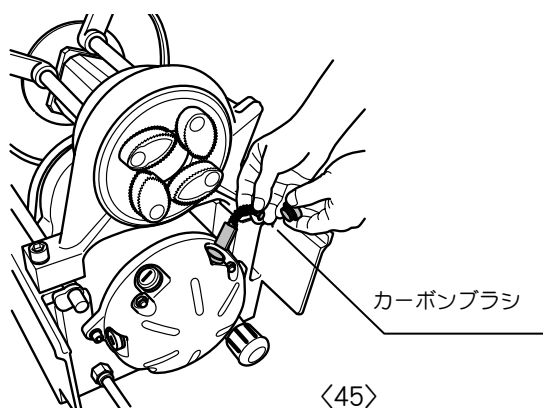
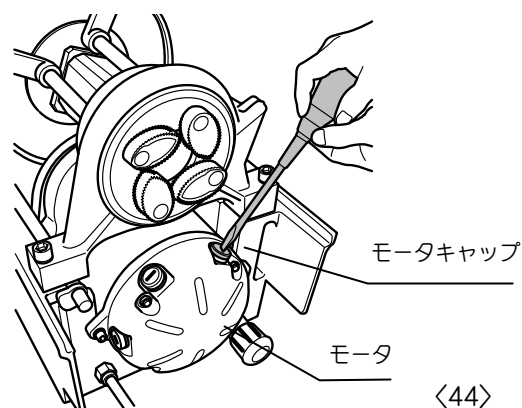
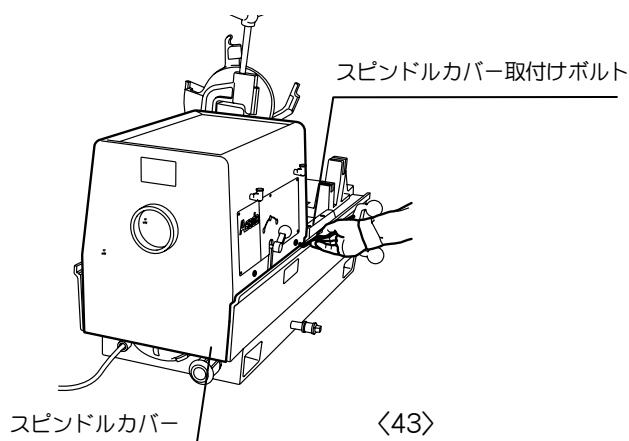


◆新品のカーボンブラシにオイル、ごみ、切粉等を付けないでください。
手袋等の汚れが付かないようにしてください。



◆モータカバー組み付け時にコードを挟み込まないでください。
コードが切れて漏電の原因になります。

- ① スピンドルカバー取り付けボルト（４本）を回し、モータカバーを外してください。（図 43）
- ② ードライバーでキャップを回しカーボンブラシを取り出します。（図 44）（図 45）



- ③ 新品のカーボンブラシを差し込みますが、指等に付いたオイルで汚さないようにしてください。
- ④ 外した手順でキャップを締め込み、モータカバーを締め込みます。その際モータのコードをモータカバーで挟み込まないようにしてください。

スーパーマチック 2000

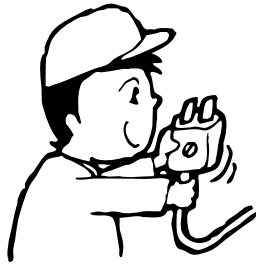
5 - 4 日常の点検と手入れ

⚠ 注意

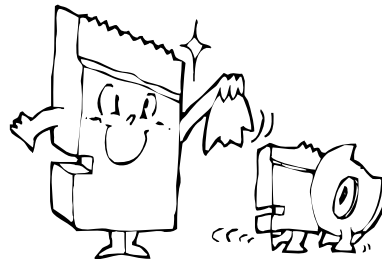


◆モータ部は水やオイルで濡らさないようにしてください。

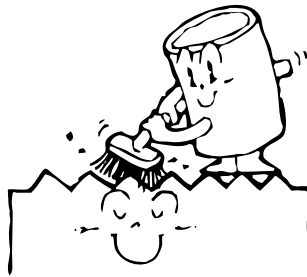
- 電源プラグ、電源コードや延長コードが損傷していたら、すぐに交換してください。
- タンク蓋金網が浸かるまでオイルが入っていますか。少ないときは補給してください。



- ダイヘッドから出るねじ切りオイルが適量でない場合は、油量調整ねじで調整します。
- タンク内の汚れはポンプ故障の原因になります。定期的に清掃してください。
- チェーザ、カッタ刃やリーマ刃に刃欠けがないか。あれば交換してください。



- チャック爪の目づまりはチャッキング不良の原因となります。ワイヤーフラシで清掃してください。



- 各部の取り付けねじがゆるんでいないか。ゆるんだまま使用すると危険ですので、増し締めをしてください。
- 本機に付いているごみや切粉を拭き取ってください。
- 長期間使用しない場合は、錆止めをして保管してください。

6 修理・サービスを依頼される前に

6 - 1 ねじ切りオイルがでない

- タンク蓋金網が浸かるまでオイルが入っていますか。
- 吸入パイプ、ストレーナがつまっていませんか。
- ポンプが故障していませんか。

6 - 2 材料の回転力が足りない

- 電源電圧が低下していませんか。
- 延長コードが長すぎたり、細すぎませんか。

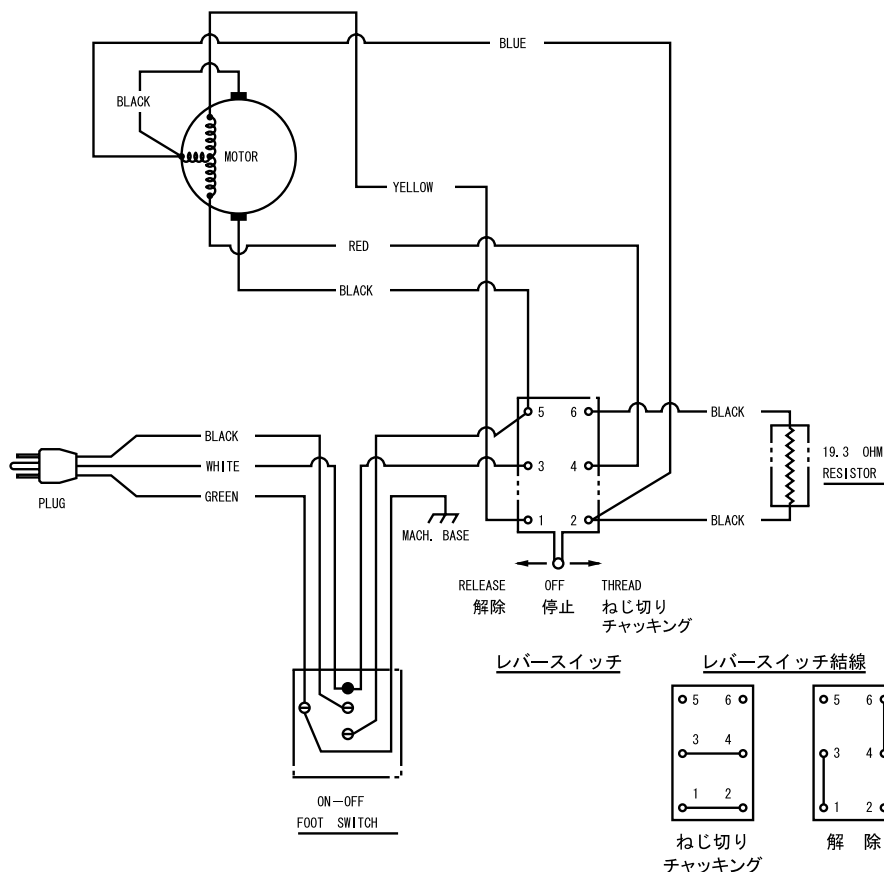
6 - 3 切れたねじの形状が悪い

- ねじ切りオイルが劣化していませんか。
- チェーザの刃欠けはありませんか
- 配管材料等で切断面が楕円になったり、斜めになっていませんか。

6 - 4 ねじが切れない

- チェーザのサイズは間違っていますか。
- チェーザは番号順に入っていますか。
- ダイヘッドの位置決めが間違っていますか。

7 電気配線図



●お客様メモ 後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号：

購入年月日： 年 月

お買い求めの販売店：

Asada
アサダ株式会社

本社 名古屋市北区上飯田西町 3-60
TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

支店／東京・名古屋・大阪
営業所／札幌・仙台・さいたま・横浜・広島・福岡

<http://www.asada.co.jp>

海外事業所

アサダ・タイランド社 (バンコク)
台湾浅田股份有限公司 (台北)
アサダ・アーロンコ マシナリー社 (クアラルンプール)
アサダ・ベトナム社 (ホーチミン)
上海浅田進出口有限公司 (上海)
アサダトレーディング USA (オレゴン州・ユージン)

工場

犬山工場 (愛知県・刈師)
第一精工株式会社 (松山市)
アサダ・マシナリー社 (バンコク)

お客様相談センター



0120-114510 (イシゴト)

〈受付時間〉AM 9:00～12:00 PM 13:00～17:00 (土・日・祝日は除く)